

2020年7月号

📅 今月の例会報告



7/1 第一例会

今期最初の例会は、なんと前回の例会から4ヶ月ぶり?!に開催されました。新入会員も1人お迎えして、ソーシャルディスタンスを保ちながら様々な制限の中でしたが、久しぶりの交流に自然に笑みがこぼれます。古閑新会長のもと、新たな取り組みや重点目標などの確認、承認が行われました。時代の変化に乗り遅れず、次のステップに向かっての準備や役員の配置ぎめなど、やらなければならないことは多いけど、会長を中心に皆で乗り越えて行きましょう!

7/15 第二例会

今回の例会では、人吉の豪雨災害地に支援に入ったL高江から現地状況の報告がありました。そして今期より、ライオンズクラブという組織についてより理解を深めるために、専門の活動を行うメンバーに講師をやっていただき、例会中に学びの時間を設けています。初回となる今回は、第一副会長のL山下よりGLTIについてのミニ講座を実施頂きました。

◆次回例会(8/5)では、L田代によるFWT講座を開催します。ぜひ、ご出席ください。◆

✓ 今月の活動報告

🗨️ 熊本豪雨災害支援

337-E地区からの要請で、7月11日～12日球磨川氾濫における支援として、人吉地区で活動を行いました。当クラブとしては、2日前に直接支援の依頼があった人吉市上薩摩町地区へ、食料品や日用品の物品搬入を行った後、市内中心部のガレキ等の片付けのお手伝いをさせていただきました。活動は4名の登録でしたが、個人的や他団体での活動を行ったメンバーもいて、延べ10名以上が現地入りしたようです。行政や社会福祉協議会、警察、自衛隊など決壊した河川の復旧や被災された家屋や店舗の清掃など割り当てられた支援が行われていました。2階まで届く浸水跡や、その状況を目の当たりにして被害の大きさを実感し、長年に渡る復興を覚悟しなければいけないと思いました。

また、7/15には各地のLCから送られてきた衣料品を中心とした支援物資の仕分け作業に、地区FWT委員長のL田代を筆頭に、L小田、L吉並、L糸永の女性会員4名でその仕分け作業に従事しました。近景のみならず、遠くは福島など東日本からも物資を送っていただけていました。仕分けが出来たものからその日のうちに、現地へ送り出しました。



📍 献血運動を行いました!

7/18、下通にて献血運動を行いました。朝早くからCOCOSA5階の献血ルームには、たくさんの方々にお越し頂きました。フィジカルディスタンスの観点からコロナ前のような積極的な声掛けは出来ないものの、それでも私たちが献血運動をすることで関心を持って下さる方が増えることは間違いありません。今後も献血運動は継続して行う必要があります。

定期的な献血へのご協力、また献血が出来ない人は運動への参加をよろしくお願いいたします。



編集後記

今月、古閑新会長のもと、幹事:L岩崎、会計:L糸永、LT:L田中、TT:L古藤の新執行部体制がスタートしました。今期は新しい取り組みとして、SNSやクラブホームページに加えて、この「会報誌」で、熊本キャスルLCの活動を皆様にお知らせすることになりました。

始まったばかりで不慣れな点もあるかと思いますが、より楽しい会報誌とするために、会員の皆様からのご意見・ご感想・アイデアを随時募集しております。いつでもお声がけ下さい。

会長テーマ

「Let's begin!」(さあ、始めよう!)

会長スローガン

「One for all all for one」(一人は皆のために 皆は一つの目的のために)